

これから夏本番を迎え、ますます暑さが厳しくなりますが、皆さんは山口県の天気についてどのようなイメージをもたれているのでしょうか？

山口県のお天気事情について、山口県が全国でどのような位置にあるのかを全国比較の可能な100の指標で示している「100の指標でみる山口県」からみてみましょう。

1つ目の指標は、「年間降水量」です。年間降水量とは、1年間に降った雨の量を表しますが、山口県は、グラフにもあるように2016年が全国6位など、降水量が比較的多い結果となっています。

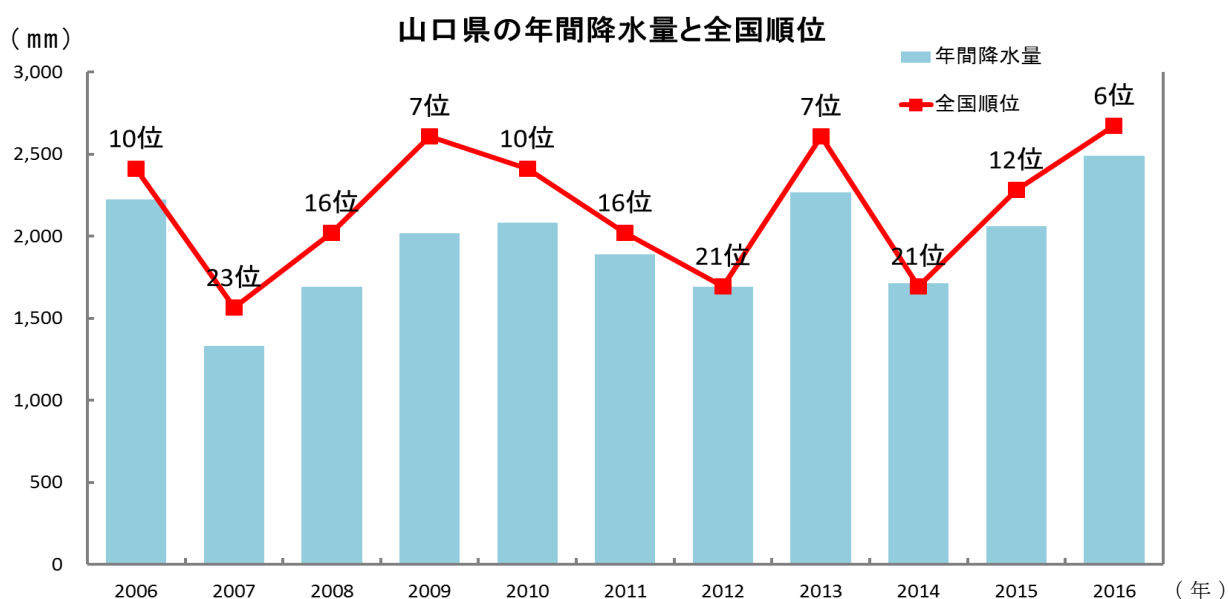
ちなみに、総務省が行っている「家計調査（二人以上の世帯）」では、2016年の山口市の傘の支出金額が1,131円、都道府県庁所在市・都区部のうち13位と、比較的高い水準を示しています。雨が多いと傘をたくさん購入するのでしょうか。

2つ目の指標は、「年間日照時間」です。日照時間とは、直射日光が地表を照射した時間を示します。2016年では山口県は全国38位と、日照時間は短く、晴れが少ないことがわかります。

ただ、年間降水量の多い高知県（3位）や静岡県（7位）などは年間日照時間も比較的長いなど（高知県11位、静岡県10位）、「降水量が多い県は晴れが少ない」とは、一概には言えないようです。

このように、違う指標を組み合わせて見ることで、各都道府県の特徴を見つけることができます。

この「100の指標でみる山口県」は、姉妹編「50の指標でみる市町のすがた」と併せて、県統計分析課のホームページで公表しています。ぜひこの機会にご活用下さい。



(出典：気象庁「気象統計情報」、山口県統計分析課「100の指標でみる山口県」)